

周波数オークション に関する懇談会

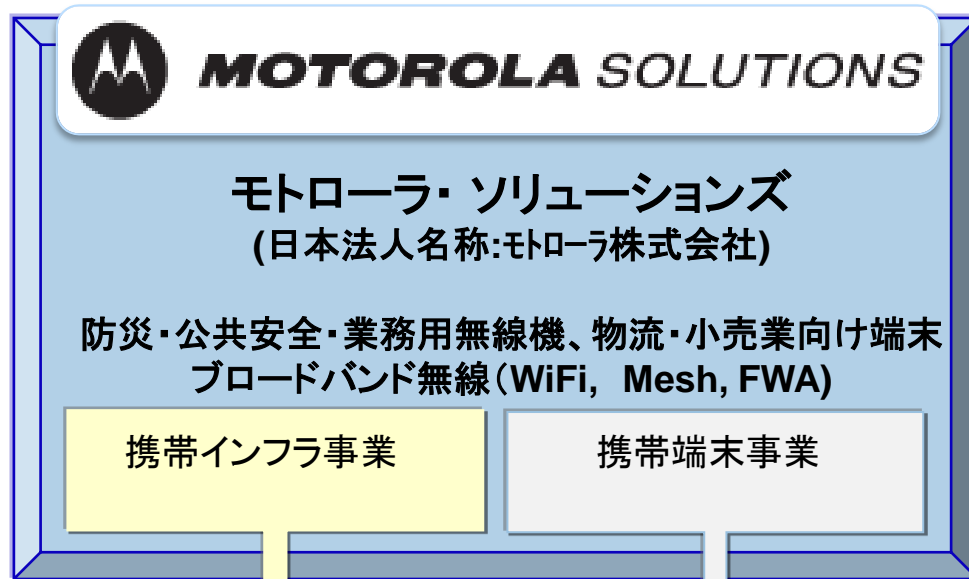
ヒアリング資料



モトローラ株式会社
2011年6月17日



はじめに



2011年4月29日
譲渡



ノキア・シーメス・ネット
ワークス

2011年1月4日
分社



モトローラ・モビリティ



提案論点1

導入目的が国民の利益となる論拠を国民に明示できるような制度導入の目的について議論すべき。

オークション導入により一般に見える大きな変化は、

- ①参入者の選定プロセスが一般に透明になること
- ②現在の電波利用料と別の財源が確保できるようになること

経済的効果＝電波利用事業の長期的な成長＝国民の利益とするならば、①②が国民の利益となるか、経済的効果を測定する方法は何かをご議論頂きたい。

また、我が国においては電波の経済的価値を反映させることを目的としたときに、オークションが最良の手法であるのかもご議論頂きたい。



提案論点2

導入目的に照らして、対象外とすべき無線システムを明確に定義すべき。

防災・公共安全向け無線システムなど経済的利益を目的としておらず、尚且つ災害時の国民のライフラインとなる無線システムがあります。

オークション導入目的に照らして対象(または対象外)とする無線システムの定義を明確にすべきと考えます。

また、オークションによる財源確保を優先することにより、将来において防災・公共安全向け無線システムなどの周波数確保が難しくなるような事態とならないように制度を設計すべきと考えます。

。